

# WE ARE WHAT WE EAT



## 食べることは生きること ～アリス・ウォータースのおいしい革命～

監督・撮影・編集：田中順也 プロデューサー：長谷川ミラ、田中順也、阿部裕志、小野幸愛  
出演：アリス・ウォータース、真崎水一、スベンサー・ヒューイ、ロス・カナード、レベッカ・ボツフェリ、宇井裕美、  
ジェローム・ワーク、中東久雄、松場登美、エスター・クック、ニック・リー  
制作：jam 製作：海士の風 字幕：小野幸愛 ナビゲーター：長谷川ミラ  
配給：ユナイテッドピープル 66分/日本/2024年/ドキュメンタリー  
© 2024 アリス映像プロジェクト / Ama No Kaze



世界中の料理人と教育者に影響を与える彼女が信じる「おいしい革命」とは？

予約の取れないレストラン「シェ・パニース」のオーナーで、食育菜園の創始者アリス・ウォータース。

食べ方を変えれば、人の価値観、そして社会が変わります。  
さあ、皆で動きましょう。  
気候変動を止め、地球と私たち自身の健康を回復するために。

＜Alice Waters アリス・ウォータース＞

「おいしい革命家」アリスのはじまり  
1971年、カリフォルニア州パークレーにアメリカで初めて、地域の農家と食べ手を直接つなぐフランス料理店「シェ・パニース」が開店した。旬を生かした料理と気取らないあたたかさで客をもてなし、予約の取れない人気店となった。その在り方にはちに「地産地消」「ファーマーズ・マーケット」「ファーム・トゥー・テーブル」というコンセプトに発展し、世界中で知られるようになる。そんな「シェ・パニース」のオーナーシェフが、アリス・ウォータース。半世紀をかけて、世界中の料理人と教育者に影響を与え、「オーガニックの母」「おいしい革命家」と呼ばれるようになった。

日本の給食や生産者、料理人との出会い  
2023年、アリスの集大成となる著書『スローフード宣言～食べることは生きること』の出版1周年を記念して、著者来日ツアーが開催された。アリスが日本各地を訪れ、学校給食を味わい、大地の守り手である生産者、料理人と触れ合っていく。そこで語られる力強い言葉と、彼女のまなざしが日本の「美しさ」を浮き彫りにする。日本、そして彼女の拠点であるカリフォルニア・パークレーでの取材を通じて、「おいしい解決策」の探求へと向かう。未来につながるための映画は、きっとあらゆる人の食卓を変えていく。

監修・撮影・編集 田中順也  
プロデューサー 長谷川ミラ、田中順也、阿部裕志、小野幸愛  
出演 アリス・ウォータース 他  
制作 jam  
制作 海士の風  
字幕 小野幸愛  
配給 ユナイテッドピープル  
66分/日本/2024年/ドキュメンタリー  
島根県海士町で6年生と地産地消給食の京都府亀岡市で生産者、教育者と語り合う 徳島県神山町のファーマーズ会議 就立を考える

UNITED PEOPLE  
Cinema

【会場】 印西市文化ホール大ホール 【参加費】 一般1,000円/子ども500円  
【日時】 2026年7月4日(土)14:00 開場 15:00/18:00 全2回上映(66分)  
ハワイエマルシェ、トークセッション同時開催「令和8年度もっとな文化ホール」採択事業

